

2022年度(第119期)

株主通信

2022年4月1日—2023年3月31日



水が途切れない世界を実現する

シナジーを期待する新規・周辺事業の拡販等の成果やグループ会社の成果もあり、対前年度増収増益を実現。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社2022年度(第119期)(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業概要等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石毛 俊朗



当期の経営成績の概況について

2022年度は、「水が途切れない世界を実現する」という当社のパーパスに基づき、「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」への歩みをさらに進めてまいりました。

DX推進の一環として開発いたしました「だいさくくん」は、スマートフォンやタブレットで、データ収集・集計、自動編集できるDXソフトです。AIを活用し、マンホールの点検業務における作業効率の改善を実現したもので、マンホール点検業務の初回の受注でも高評価を得ました。今後、必要とされる事業体様・点検会社様へのご提案を進めてまいります。

当社開発商品である、プリセット接合工具「楽ちゃく」は、昨年10月の2022名古屋水道展での実物展示により、ご来場の方々から、高い関心を集めることができました。誰でも楽に簡単に短時間で施工ができることを実演し、現場に寄り添った構造設計になっているということを身近に感じていただきました。試用を経てより使いやすい形にバージョンアップしてまいります。

さや管推進工法対応部品「オセール」については、水道展と併催で行われた「全国会議・水道研究発表会」において「さや管推進工法用推力伝達バンドの開発」というテーマで発表いたしました。これまで利用していただいた施工会社様の多くがリピーターになっていただくなど、大変好評を得ております。

「楽ちゃく」・「オセール」は、人手不足対応や働き方改革など、水道工事事業の課題解決の一助となるもので、人材不足の課題を抱える工事施工会社様にとって、極めて有用であることから、一層の拡販活動を進めているところです。これらは、ESG経営の一環としても取り組んできたものであり、人材不足への対応といった社会問題解決に極めて有用と考えております。

事業パートナーとの取組については、(株)水研が販売開始しましたKATANAバルブは、知的財産を共同保有し、当社が製造を担っているものです。切粉を一切混入させることなく短時間で簡単に管路にバルブを設置できるようにすることで、水質確保や施工時間の短縮といった社会課題解決に寄与しております。ポリエチレン管の需要が高い海外での展開を視野に入れております。

Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術のソフト販売活動についても、継続してご利用いただいている事業体様に加え、いくつもの新規のご利用をいただ

いており、さらなる進化を遂げてきております。

また、2023年4月28日に発表いたしました通り、所期の目的を達成したことからWhole Earth Foundationとの提携関係を解消しましたが、当社は今後とも引き続きインフラへの貢献に取り組み、公共インフラ領域におけるDX推進の先駆者を目指してまいります。

こうした「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」を目指す取り組みは、順調に推移しており、2022年度はそうした活動成果をさらに前進させる年となりました。

当連結会計年度の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、原材料等諸物価の高騰により販売価格改定を進めてきたこと、受注品種構成の良化、シナジーを期待する新規・周辺事業の拡大、グループ会社の売上高の増加、などにより販売が順調に推移してきており、21億2百万円(前年同期比13.8%)増加し、172億88百万円となりました。

収益につきましては、原材料等諸物価の高騰に対するタイムラグはあるものの販売価格の改定や受注品種構成の良化、新規・周辺事業の拡大、グループ会社の収益増加などにより、対前年度増益を実現いたしました。営業利益は1億38百万円増加し5億21百万円、経常利益は1億58百万円増加し5億76百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億26百万円増加し3億62百万円の利益となりました。

当社ではESGやSDGsに関わる取り組みを積極的に行っております。2022年度は、カーボンニュートラル実現に向け、6月に電気炉建設チームを立ち上げ、キュポラ代替製法導入検討を急ピッチで進めてまいりました。また、国際NGOウォーターエイドに対して、ダクタイル鉄管の販売量に応じた寄付も継続して実施している一方、10月に工場近隣の中学生約300名を対象とした、水道に関する授業をウォーターエイドと共同で行いました。また、久喜工場近隣の久喜菖蒲公園にて、地域の皆様に自然と親しめるイベントを一昨年11月より開始し、好評を得ながら毎月開催してきております。今後も、ESGやSDGsに関わる取り組みを積極的に進めてまいります。

引き続き、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様のご期待に添えるよう、種々の経営施策を着実に実行し、さらなる安定利益を確保するように努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



売上高

17,288 百万円 (前期比 13.8%増↑)

経常利益

576 百万円 (前期比 38.1%増↑)

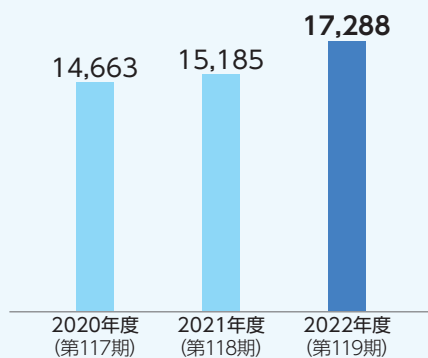
営業利益

521 百万円 (前期比 36.1%増↑)

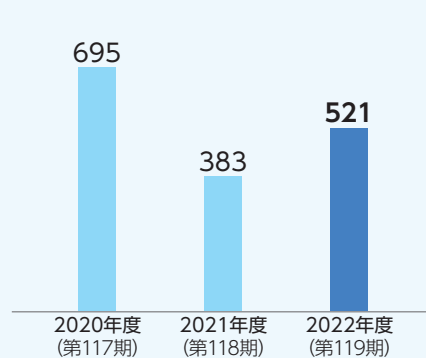
親会社株主に帰属する当期純利益

362 百万円 (前期比 53.4%増↑)

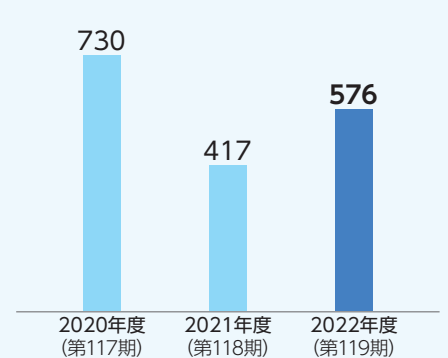
■ 売上高 (百万円)



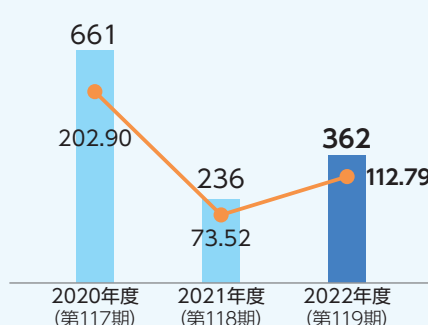
■ 営業利益 (百万円)



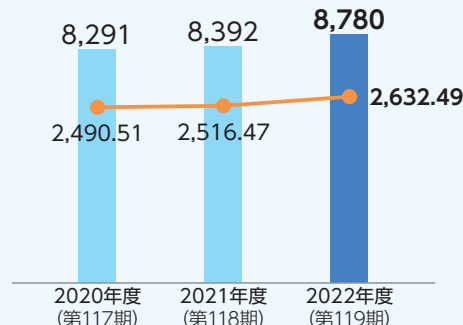
■ 経常利益 (百万円)



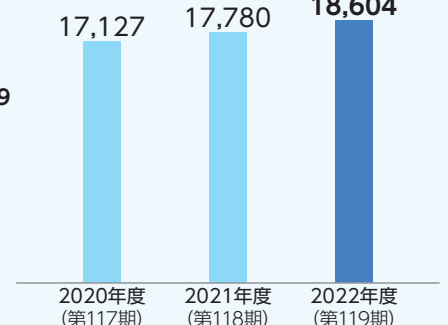
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)
 ● 1株当たり当期純利益 (円)



■ 純資産 (百万円)
 ● 1株当たり純資産 (円)



■ 総資産 (百万円)



日本鑄鉄管が掲げる企業理念

[Vision 最終的な企業の未来予想図]

水道管路の変革を先進し、世界随一の水道インフラを持続させる

[Purpose 存在意義]

水が途切れない世界を実現する



水が途切れない世界の実現のために

～製品・サービスによる社会課題解決への貢献～

当社は、管路更新サイクル全般に関与する事業スタイルへのシフトチェンジ、すなわち「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」を目指しております。その実現のために、劣悪な労働環境下での作業や高度な技能が必要な作業をなくし、作業負担軽減、作業時間短縮により、人手不足・技能者不足という社会課題解決に資する製品・サービスを開発してまいりました。これらの拡販とさらなる開発により、社会課題解決にまい進してまいります。

KATANAバルブ

水質確保 時間短縮 (株)水研様との共同開発



INNOVATIVE TECHNOLOGY
KATANAバルブ

NEW

- 不断水で既設管の任意の箇所に設置可能
- 管厚をわずかに残して溝切加工した後、ナイフゲートで押し切りするため、管内に切粉が一切混入しません
- 穿孔作業がないため、短時間で簡単に設置可能

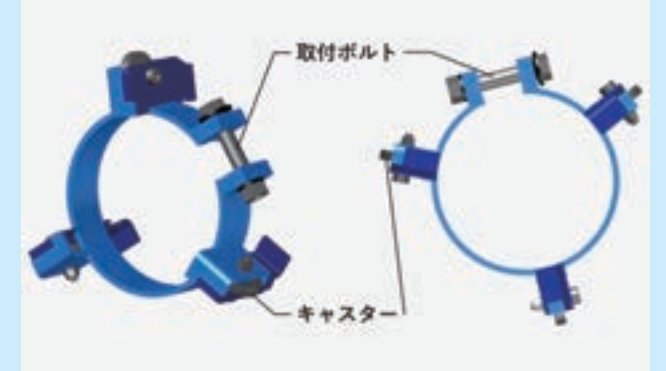


オセール

耐震性能 時間短縮 作業負担軽減



- ワンパッケージ化された部品によるシンプルな構造
- 地上での事前取り付けが可能で、狭い立坑内での作業負担を軽減
- 独自の構造による耐震性能の維持



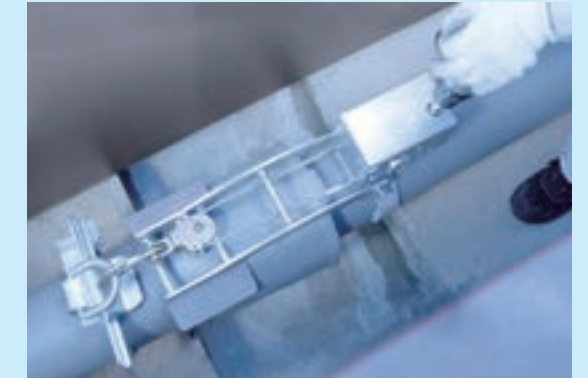
楽ちゃく

誰でも

クリーン 時間短縮 作業負担軽減



- ワンタッチで、誰でも楽で正確な接合が可能
- 電動工具を用いた従来の半分の時間で接合が可能
- 作業は管上部からできるため視認性が高くクリーン

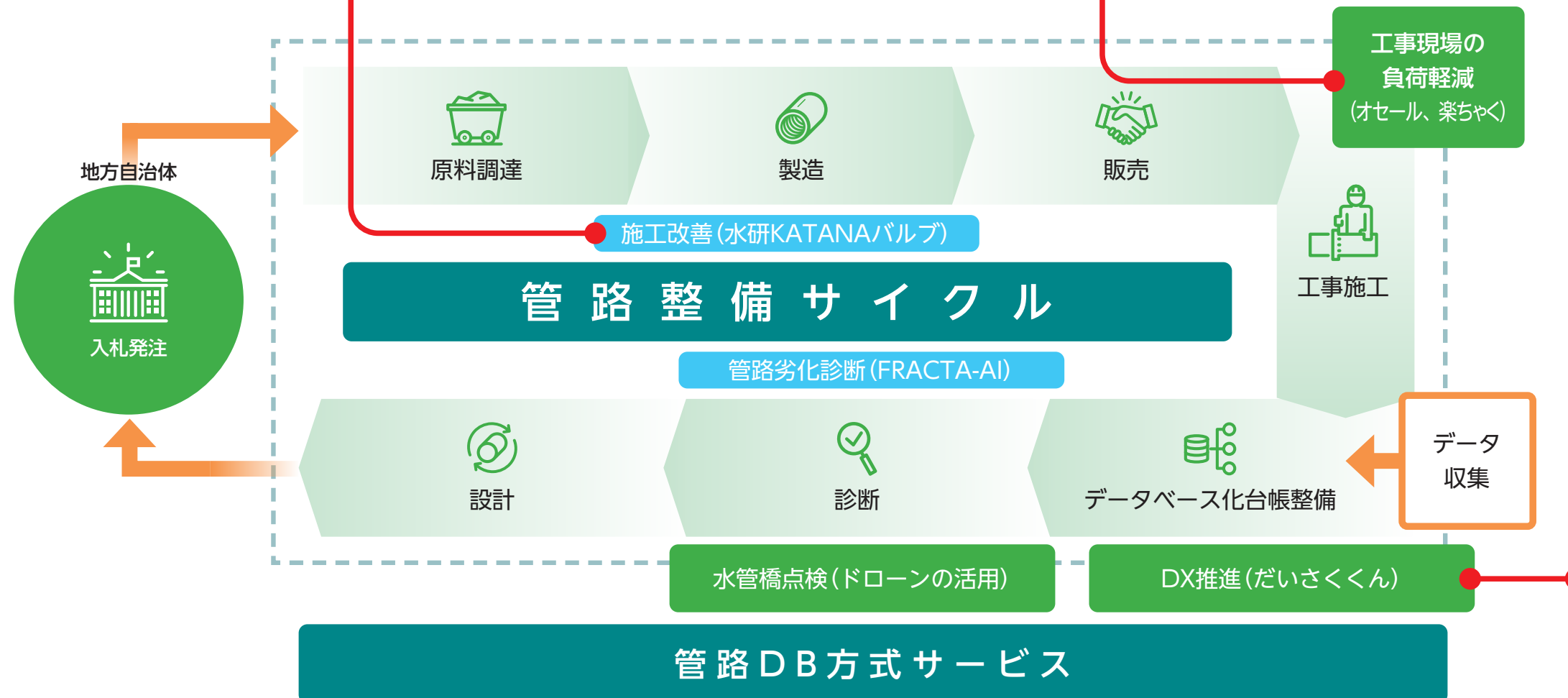


だいさくくん

DX 時間短縮 作業負担軽減



- GPS地図連動で、現地でのスムーズな点検・調査を実現
- 写真・目視判定のAIによる自動入力支援(21項目)
- 点検調査記録表・台帳用データ集計表の自動作成
- 下水道台帳との連携が可能



E S Gの取り組み 中学生285名に「水」についての出張授業を実施

2022年10月初旬に、久喜工場を構える久喜市の久喜東中学校にて、ウォーターエイドジャパンと共同で「水」についての出張授業を行いました。当社は、「水が途切れない世界を実現する」というパーパスのもと、ウォーターエイドへの寄付を始めており、今回の取り組みもその一環としたコラボレーションになります。

参加した生徒からは「私たちが当たり前に使っている水の量を使えない人が世界にはたくさんいるということがこの授業で学べた。これからは、手洗いの時には一度水を止めるなど、水を大切にしようと思った」などの素晴らしい感想をいただきました。

水の大切さをもっと多くの方に知ってもらうため、今後も活動を続けてまいります。



会社・株式情報 (2023年3月31日現在)

■ 会社概要

会 社 名	日本鑄鉄管株式会社 NIPPON CHUTETSUKAN K.K.
設 立	1937(昭和12)年10月
本 社 所 在 地	東京都中央区築地一丁目 12 番 22 号 コンパビル
資 本 金	18億5,500万円
従 業 員 数	303名
連 結 子 会 社	日鑄商事株式会社 株式会社鶴見工材センター 日鑄サービス株式会社 株式会社イガラシ

■ 役員 (2023年6月20日現在)

代表取締役社長執行役員	石 毛 俊 朗
取締役執行役員	長 谷 部 圭 一
取 締 役	奥 村 一 郎
取 締 役	山 内 崇
取 締 役	秋 山 礼 子
常 勤 監 査 役	高 舘 健 二
監 査 役	宇 田 齊
監 査 役	稲 永 宏 和
執 行 役 員	大 木 勝 裕
執 行 役 員	小 倉 健 次
執 行 役 員	清 水 孝
執 行 役 員	渡 邊 恭 二
執 行 役 員	橋 本 謙 治

(注) 1. 奥村一郎、山内 崇および秋山礼子の3氏は、社外取締役であります。
2. 宇田 齊、稲永宏和の両氏は、社外監査役であります。
3. 奥村一郎、宇田 齊の両氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

■ 株式の状況

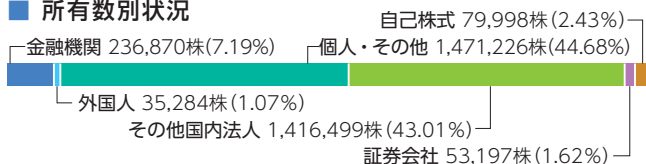
発行可能株式総数	12,800,000 株
発行済株式の総数	3,293,074 株
株 主 数	3,164 名

■ 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
JFEスチール株式会社	960	29.88
東京瓦斯株式会社	333	10.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	161	5.03
松原明男	66	2.06
渡邊倉庫株式会社	60	1.87

(注) 1. 当社は自己株式(79,998株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

■ 所有数別状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
配当金受領	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主確定日	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公 告 方 法	電子公告とする。但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトでは、決算情報、リリースなど、最新情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。

日本鑄鉄管 検索 <https://www.nichu.co.jp/>

